

5 スポーツ・レクリエーション

～市民が自らの健康状態に応じてスポーツやレクリエーションを楽しむことができるまち

<基本計画の目標>

子どもから高齢者までが身近なところで、生涯にわたってそれぞれのライフステージや健康状態に応じて楽しむことができる市民スポーツを振興します。また、そのための活動場所を充実します。

海、山など自然とふれあい、自然環境の保全と調和について理解を深めながら行うことができるスポーツの振興を図ります。

多様なニーズに対応できる体制づくりや公式競技開催が可能な施設整備を積極的に進めるとともに、施設の広域利用をはじめとしたスポーツに関する多様な情報をネットワーク化し、スポーツを身近なものとしていきます。

活動団体への指導・援助や、地域における指導者の養成と資質向上により、スポーツに対する多様な要望にこたえるとともに、健康状態にあったスポーツができるよう、推進体制を整備していきます。

<目標指標>

目標指標	目標指標の定義	当初値	H18	H19	H20	H21	H22年度 目標値	H27年度 目標値
スポーツ施設の 利用者数(十)	スポーツ施設(鎌倉・天船・見田 記念体育館、鎌倉武道館、海浜 公園水泳プール等)の年間利用 者数の合計	431,283 人	493,267 人	487,709 人	460,690 人	496,279 人	470,000 人	475,000 人
日常スポーツ実践 率(十)	1回30分以上の運動を週1回以 上行っている市民の割合	47.1 %	47.2 %	42.2 %	49.5 %	51.4 %	54 %	54 %
市民満足度	サブタイトルにあるまちの実現状 況について、市民が実感している 割合	38.4 %	32.5 %	27.3 %	41.9 %	37.6 %	48 %	53 %

<これまでの取組の評価～進捗と課題>

評価: ◎80%以上の成果、○50%以上の成果、△30%以上の成果、×30%以下の成果

・生涯学習部

<昨年度からの課題>

中長期的な施策ではあるが、スポーツ施設が十分でないうえに、既存施設の老朽化もあり、スポーツ施設の整備は大きな課題となっています。

<進捗>

スポーツ施設の整備に向けて、平成20年度からスポーツ施設整備基金を積み立てるとともに、市民、関係スポーツ団体の代表及び学識経験を有する者からなるスポーツ施設整備懇話会を開催し活発な意見交換を行ないました。

スポーツ施設の指定管理者とはモニタリング以外に、定期的に連絡調整会議を開催し、利用者サービスの向上のために、現状や問題点を共通認識し調整を図りました。

見田記念体育館は住宅地にあり近隣への騒音防止のため、夏季でも窓を開けられませんでしたが、これまで空調が整備されていなかった体育室に空調を整備し、利用環境の向上を図りました。

指定管理者制度導入後、鎌倉体育館のトレーニング室にトレーナーが常駐しています。利用者から好評で利用者数が増加しています。

地域の求めに応じて、自治町内会館などに出向いて、高齢者対象のストレッチ教室などを開催しました。近所で気軽に参加できることもあり好評です。

<課題>

スポーツ施設の整備、既存施設の有効活用、教室・講座等のソフトの充実

担当部の評価



<今後の展開(取組方針)>

・生涯学習部

- ・平成21年度に引き続き、平成22年度もスポーツ施設整備懇話会を開催し意見の集約を図ります。
- ・指定管理者と協力し、利用者サービスの向上を図ります。
- ・市民ニーズを把握し、誰もが気軽に運動やスポーツに取り組める環境の整備を図ります。

鎌倉市民評価委員会の評価

～評価委員は、この分野の取組について次のように評価しています。



評価できるところ

- ・スポーツを楽しんでいる人が増え、楽しみ方が多様化している。
- ・高齢者の体力増強、転倒予防の取り組みなどは良い活動であると評価できる。
- ・スポーツ施設の利用者数は年々伸びて、スポーツへの関心や参加意欲が高まっていると考えられ、鎌倉市はスポーツが楽しめる町という意識を高めることができた点は評価できるであろう。スポーツ実践率が上がり、スポーツに親しめる機会の提供ができていたものと推測でき評価できるであろう。
- ・30の体育協会の運営支援をしており、多種のスポーツを楽しむ機会を市民に提供している。



課題・提言

- ・スポーツ・レクリエーションを十分に楽しむことのできる空間が定常的に不足している。スポーツ施設の整備に当たっては、周辺都市との連携のなかで検討していくことも必要か。
- ・市民ニーズとして、ハイキングコースの整備(トイレ、休憩場所、眺望が良いところの樹の剪定)や坂ノ下・プール附近の充実、笛田・テニスコートの充実等期待は大きい。各年代に合ったスポーツを提供、指導して行く事も大切。
- ・スポーツ施設の指定管理者とはモニタリング以外に、定期的に連絡調整会議を開催し、利用者サービスの向上のために、現状や問題点を共通認識し調整を図っているとの事だが、具体的に改善に取り組んだ問題を表記していただければ、より実績が表れ、評価が行いやすくなる。